



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社
 コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 原田 一之
 (氏名) 廣川 雄一郎

TEL 03-3280-9135

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	71,874	△0.8	8,043	23.3	7,089	36.5	4,407	32.3
27年3月期第1四半期	72,433	△14.8	6,523	△6.5	5,194	△16.2	3,331	△14.6

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 3,331百万円 (△65.0%) 27年3月期第1四半期 9,517百万円 (158.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	8.00	—
27年3月期第1四半期	6.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,056,327	253,697	24.0
27年3月期	1,069,923	252,344	23.5

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 253,237百万円 27年3月期 251,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	147,200	0.9	15,000	4.3	12,300	4.6	7,500	6.5	13.61
通期	311,500	△2.0	26,500	△1.1	20,500	△6.8	11,000	2.1	19.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	551,521,094 株	27年3月期	551,521,094 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	681,929 株	27年3月期	375,914 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	550,992,172 株	27年3月期1Q	551,167,902 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
4. 補足情報	9
【第1四半期連結損益計算書(前年同期比較)】	9
【セグメント情報(前年同期比較)】	10
【鉄道運輸成績】	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）のわが国経済は、海外景気の下振れ懸念が残ったものの、原油価格下落の影響や経済対策、金融政策の効果などを背景に、企業収益や雇用環境が改善し、景気は、緩やかな回復基調で推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、長期ビジョン「品川・羽田を玄関口として、国内外の多くの人々が集う、豊かな沿線を目指す」に基づき、各事業を推進したほか、子会社の再編を行うなど経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は718億7千4百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は80億4千3百万円（前年同期比23.3%増）、経常利益は70億8千9百万円（前年同期比36.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億7百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、昨年3月の羽田空港国際線の発着枠拡大に伴う航空旅客の増加や、本年3月の上野東京ライン開業にあわせ、北関東エリアで宣伝活動を積極的に実施したことなどにより、羽田空港国際線・国内線ターミナル駅をご利用のお客様が増加しました。また、都心方面および近距離区間の通勤旅客が増加したことや昨年の消費税率引き上げに伴う定期券等の先買いによる反動増などにより、輸送人員は前年同期比で3.2%増加しました。

さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、京急鶴見駅および上大岡駅構内の高架橋耐震補強工事等を進めたほか、大師線で地下化工事を推進しました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス(株)は、本年3月の都市高速道路中央環状品川線の開通を機に、羽田空港アクセス路線で運行経路の変更およびダイヤ改正を実施するなど、利便性の向上に努めました。また、今後、就航増加が見込まれる深夜早朝時間帯の航空便ご利用のお客様の利便性向上を図るため、羽田空港の深夜早朝アクセスバスで、川崎方面の路線を新設するなど、鉄道が運行していない時間帯の羽田空港アクセスの向上に努めました。

以上の結果、交通事業の営業収益は298億8千1百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は57億9千1百万円（前年同期比28.6%増）となりました。

なお、京浜急行バス(株)は、7月にお台場～東京スカイツリータウン線の運行を開始しました。

不動産事業

不動産販売業では、当社は、他社と共同で販売した港町駅前の分譲マンション「リヴァリエB棟」、「オーベルグランディオ横浜鶴見 アリーナテラス・コンフォートテラス」を契約完売したほか、「リヴァリエC棟」、「プライム横浜屏風浦」の販売を開始しました。

不動産賃貸業では、交通結節点として重要性が高まる品川駅前に立地するオフィスビルなどで、高稼働率の維持に努めました。また、京急開発(株)は、羽田空港等に好アクセスな立地を活かした「平和島物流センタ」が好調に稼働しました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は57億3千万円（前年同期比19.7%減）、営業利益は2億6千万円（前年同期比52.6%減）となりました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DAIBAは、国内外のエージェントセールスを強化したことなどにより、訪日旅客および旺盛な国内需要を取り込み好調に稼働し、客室単価も上昇しました。また、京急EXインは、「京急EXイン 品川駅前」をはじめ各館が順調に推移し、客室単価が上昇しました。

レジャー施設業では、京急開発(株)は、「天然温泉 平和島」で、引き続き海外の航空会社等と共同でキャンペーンを実施するなど、新規顧客の獲得に努めました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は103億2千4百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は12億3千9百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

流通事業

百貨店業では、(株)京急百貨店は、リニューアルオープンした「ウイング高輪 E A S T」に新業態のコスメ専門店を出店するなど、新規顧客の獲得に努めました。

ストア業では、(株)京急ストアは、「ウイング高輪 E A S T」が順調に推移しました。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、セブンイレブン・ジャパンと業務提携した駅構内や駅前の店舗が好調に推移しました。

以上の結果、流通事業の営業収益は253億7千1百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は5億8千万円（前年同期比50.2%増）となりました。

なお、(株)京急ステーションコマースは、7月から羽田空港国際線ターミナル駅などの4店舗で、免税サービスを開始しました。

その他

京急建設(株)は、鉄道の安全対策工事等を進めたほか、公共施設の建設工事等を行いました。また、(株)京急ファイナテックは、引き続き鉄道車両修繕工事等を行いました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は87億5千1百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は1億4千万円（前年同期比594.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ135億9千6百万円減少しました。

負債は、長期前受工事負担金の増加はありましたが、支払手形及び買掛金および有利子負債の減少などにより、前連結会計年度末と比べ149億4千9百万円減少しました。

また、純資産は、剰余金の配当などによる減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べ13億5千2百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定範囲内で推移していることから、平成28年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績見通しについては、平成27年5月13日に開示した内容を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,088	33,762
受取手形及び売掛金	14,266	13,008
商品及び製品	2,519	2,634
分譲土地建物	80,849	83,262
仕掛品	1,155	1,641
原材料及び貯蔵品	566	618
繰延税金資産	2,744	1,742
その他	4,380	5,065
貸倒引当金	△26	△20
流動資産合計	151,546	141,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	302,698	300,404
機械装置及び運搬具(純額)	37,350	36,242
土地	154,732	155,698
建設仮勘定	262,706	262,255
その他(純額)	5,682	5,615
有形固定資産合計	763,171	760,217
無形固定資産		
のれん	3,192	3,133
その他	6,120	5,927
無形固定資産合計	9,312	9,061
投資その他の資産		
投資有価証券	71,656	70,693
長期貸付金	1,802	1,753
繰延税金資産	2,574	2,573
退職給付に係る資産	47,130	47,472
その他	22,936	23,053
貸倒引当金	△208	△211
投資その他の資産合計	145,892	145,333
固定資産合計	918,376	914,612
資産合計	1,069,923	1,056,327

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,268	27,965
短期借入金	131,711	131,171
1年内償還予定の社債	30,006	20,000
未払法人税等	5,147	1,350
前受金	4,968	6,888
賞与引当金	1,435	1,485
役員賞与引当金	80	0
その他	30,904	30,317
流動負債合計	240,523	219,180
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	227,124	229,682
繰延税金負債	19,615	19,355
役員退職慰労引当金	350	326
退職給付に係る負債	9,401	9,419
長期前受工事負担金	193,085	197,335
その他	27,477	27,329
固定負債合計	577,055	583,448
負債合計	817,578	802,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	118,832	121,586
自己株式	△286	△590
株主資本合計	206,442	208,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,063	20,327
退職給付に係る調整累計額	24,366	24,017
その他の包括利益累計額合計	45,430	44,344
非支配株主持分	471	460
純資産合計	252,344	253,697
負債純資産合計	1,069,923	1,056,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業収益	72,433	71,874
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	57,872	55,653
販売費及び一般管理費	8,038	8,177
営業費合計	65,910	63,830
営業利益	6,523	8,043
営業外収益		
受取利息	24	23
受取配当金	228	318
持分法による投資利益	142	156
その他	173	194
営業外収益合計	569	692
営業外費用		
支払利息	1,704	1,561
その他	194	85
営業外費用合計	1,898	1,646
経常利益	5,194	7,089
特別利益		
工事負担金等受入額	38	59
特別利益合計	38	59
特別損失		
固定資産圧縮損	38	59
特別損失合計	38	59
税金等調整前四半期純利益	5,194	7,089
法人税、住民税及び事業税	1,156	1,402
法人税等調整額	698	1,269
法人税等合計	1,855	2,671
四半期純利益	3,338	4,417
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,331	4,407

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	3,338	4,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,173	△736
退職給付に係る調整額	5	△349
その他の包括利益合計	6,178	△1,085
四半期包括利益	9,517	3,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,509	3,321
非支配株主に係る四半期包括利益	7	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	28,740	5,496	9,329	24,291	4,575	72,433	—	72,433
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	555	1,637	869	337	4,267	7,667	△7,667	—
計	29,296	7,133	10,199	24,629	8,842	80,101	△7,667	72,433
セグメント利益	4,503	550	1,039	386	20	6,499	23	6,523

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	29,310	4,092	9,457	25,038	3,974	71,874	—	71,874
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	570	1,637	866	333	4,777	8,184	△8,184	—
計	29,881	5,730	10,324	25,371	8,751	80,058	△8,184	71,874
セグメント利益	5,791	260	1,239	580	140	8,012	30	8,043

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

【第1四半期連結損益計算書（前年同期比較）】

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
I 営業収益	72,433	71,874	△559	△0.8
II 営業費	65,910	63,830	△2,079	△3.2
1. 運輸業等営業費及び売上原価	57,872	55,653	△2,218	△3.8
2. 販売費及び一般管理費	8,038	8,177	139	1.7
営業利益	6,523	8,043	1,519	23.3
III 営業外収益	569	692	123	21.7
1. 受取利息	24	23	△1	△7.7
2. 受取配当金	228	318	90	39.7
3. 持分法による投資利益	142	156	14	9.9
4. その他	173	194	20	11.9
IV 営業外費用	1,898	1,646	△251	△13.2
1. 支払利息	1,704	1,561	△142	△8.3
2. その他	194	85	△109	△56.3
経常利益	5,194	7,089	1,894	36.5
V 特別利益	38	59	21	55.6
1. 工事負担金等受入額	38	59	21	55.6
VI 特別損失	38	59	21	55.6
1. 固定資産圧縮損	38	59	21	55.6
税金等調整前四半期純利益	5,194	7,089	1,894	36.5
法人税、住民税及び事業税	1,156	1,402	245	21.2
法人税等調整額	698	1,269	570	81.7
法人税等合計	1,855	2,671	816	44.0
四半期純利益	3,338	4,417	1,078	32.3
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	9	2	33.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,331	4,407	1,075	32.3

【セグメント情報（前年同期比較）】

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交通事業				
営業収益	29,296	29,881	585	2.0
営業利益	4,503	5,791	1,287	28.6
不動産事業				
営業収益	7,133	5,730	△1,403	△19.7
営業利益	550	260	△289	△52.6
レジャー・サービス事業				
営業収益	10,199	10,324	124	1.2
営業利益	1,039	1,239	200	19.3
流通事業				
営業収益	24,629	25,371	741	3.0
営業利益	386	580	193	50.2
その他				
営業収益	8,842	8,751	△91	△1.0
営業利益	20	140	120	594.6
合計				
営業収益	80,101	80,058	△42	△0.1
営業利益	6,499	8,012	1,513	23.3
調整額				
営業収益	△7,667	△8,184	△517	—
営業利益	23	30	6	28.6
四半期連結損益計算書計上額				
営業収益	72,433	71,874	△559	△0.8
営業利益	6,523	8,043	1,519	23.3

【鉄道運輸成績】

科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	増 減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客運輸収入				
定期	7,550	7,761	211	2.8
定期外	11,468	11,863	395	3.4
計	19,018	19,625	606	3.2
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期	63,716	65,670	1,954	3.1
定期外	49,125	50,805	1,680	3.4
計	112,841	116,475	3,634	3.2